

専攻科だより

— 海上輸送システム工学専攻第二期生入学 —

専攻科長 中 哲夫

生産システム工学専攻主任 葛目 幸一

海上輸送システム工学専攻主任 高岡 俊輔

平成18年10月2日に専攻科（海上輸送システム工学専攻）の入学式が挙行され、第二期生として5名が入学しました。平成17年4月に弓削商船高専に念願の専攻科が設置され、第一期生として18名が既に入学、第二期生の生産システム工学専攻8名の26名が既に入学しています。今回の海上輸送システム工学専攻の入学により、専攻科生の全学年が揃うこととなり、本校の歴史に残る記念すべき日となりました。今後は、両専攻が切磋琢磨し、相乗効果を発揮して、商船高専の専攻科ならではの特徴的發展を遂げ、新しい高度専門技術者教育が本格化するものと期待されています。

校長が療養中のため式辞は、友田副校長が代読しました。概要は次の通りです。

『本校の専攻科には海上輸送システム工学専攻と生産システム工学専攻の2専攻がありますが、本日、みなさんが入学されましたので、両専攻の全学年が揃うこととなりました。この意味で今日は、本校にとりまして記念すべき日になったと申せます。つまり、海事系分野と工業系分野の実践的技術者の養成を目指す準学士課程と、学士課程である専攻科の歯車がかみ合っ、新しい高度専門技術者の教育システムが完成いたしました。さらに、生産システム工学の8名の専攻科生は、来年三月には二年間の教育課程を終えて、専攻科の第一期修了生として巣立っていく予定ですので、本校における教育研究システムは、ますます充実されつつあると言えます。』

みなさんが入学された海上輸送システム工学専攻は、本校関係者はもとより、地元しまなみ地域の関係各方面より多大のご支援を頂き、大学とは異なる複眼的な視野を有する海事技術者を養成するために設置されました。これまでみなさんは本科において、早期実践的教育を受け、準学士の称号を受けられました。専攻科では、それらを基盤として、海上輸送システム工学、船舶安全管理システム学、船舶機関システム工学などの一歩踏み込んだ専門的知識すなわち海事管理技術を修得し、大学卒と同じ学士（商船学）の学位を目指します。この間、専門的知識を授かるだけでなく、問題提起能力、解析能力および問題解決能力を高めるよう教育も行われます。商船高専の専攻科は、既に海技士免許を取得し、運航技術を熟知した技術者が海事管理技術を修得することになりますので、海事系大学等とは教育プログラムにおいて大きく異なり、特徴的であります。また、専攻科では、7年間一貫教育のメリットが生かされますので、大学院修士レベルの高度な専門的技術力の修得も可能となります。

ここで、高専機構本部が将来の専攻科に寄せる期待について、少し話をさせていただきます。21世紀に入り、科学技術はますます高度化、多様化、複合化しており、また、技術のグローバル化も加速的に進行しています。環境問題、エネルギー問題、また技術の安全性、災害の予知・予防など地球規模の課題が山積し、人類が技術者にかかる期待はますます高くなっています。これに対応するために、現在の入学定員を本科の二割から三割に増員するとともに、専攻科教育プログラムを現代の教育ニーズにより適合したものに改善し、しかも教授陣営の増強も図ろうとしています。このことは、今後の高専の

あり方を検討する上で、専攻科が如何に重要であるかを、物語っているといえます。それだけに、みなさんにかかる期待は大きく、とりわけ、しまなみ地域発展の若い担い手として、輝かしい成果が上げられるよう、在学中に十分な素養を身に付けねばなりません。

これから専攻科生にとって大切なことは、ディスカッションやプレゼンテーション能力、報告書（特に論文形式の報告書）の作成能力を高めることも必要です。また、国際的に通用する技術者が求められていますから、積極的に外国語の文献や資料の扱いに慣れることも大切です。得られた成果は、出来るだけ専門の学会や研究会で口頭発表すると共に、成果をまとめて論文に発表して、多くの人に評価してもらうようにして下さい。さらに、特許等の知的財産権取得にも意欲的であって欲しいと思います。

最後に、日本の海運業界は景気の回復と団塊世代の技術者の退職などにより、慢性的な海事技術者不足に陥っています。世の中は、みなさんの二年後を首を長くして待っています。知識を持っているだけでなく、知識を生かす知恵を働かせ、実際にモノごとを創造的に出来る技術者を目指して下さい。みなさんの活躍と有意義な学生生活を期待します。』

☆ 海上輸送システム工学専攻（第二期生） ☆

1. 赤瀬 渉（機関係）、 2. 杉本統一（航海系）
3. 平山悠太（航海系）、 4. 藤岡佐利（航海系）
5. 米倉正和（機関係）



海上輸送システム工学専攻・第二期生



勢揃いした専攻科生